

## 第5章 既指定地の整備計画の時点修正

### 第1節 二の丸枡形

発掘調査成果により、現況で露出している石垣の下部に、近代以降地下に埋蔵されている石垣（総高約 4.0m）が確認されている。この埋没石垣と露出石垣等の遺構保存の基本的な考え方を示す。

#### 基本的な考え方

- ・ 遺構の詳細な発掘調査成果に基づき、本質的価値の確実な保存を行い、整備は遺構の保存を第一義とする。
- ・ 石垣の調査を実施して修復方法を検討し、整備を行う。
- ・ 発掘調査で確認されている地下遺構もしくは今後確認された地下遺構については、遺構保存のため、基本的に原位置のまま覆土等による適切な保存措置を講じるが、一部露出展示等の方法も検討する。

枡形石垣については、現況で一部に顕著な孕みが確認されており、調査の結果危険度 A と判定されている（第3章参照）。特に歩道に接している面については早急に修理を行わなければならない。地下遺構は原則、遺構保存のため埋め戻しとするが、本来的な枡形の姿を理解していただくためには、部分的な露出展示が望ましい。石垣カルテの調査、修理作業が終了した段階で、排水等の問題を検討したうえで、部分的な露出展示を行うことを検討する。その場合、来訪者の安全確保を最優先とし、遺構保護のための柵などの設置も検討する。

サイン類や地下埋設配管等の設置については、遺構の保存を考慮し、保護盛土に埋設するなど、遺構への影響を与えない工法を選択する。



## 第2節 動線計画

既存の登城路の中でも、追加指定され史跡米子城跡の表玄関として整備される「三の丸広場」から、枅形登城口に入り、二の丸、本丸への、縄張りに沿った動線をメインルートとして整備をすすめる。

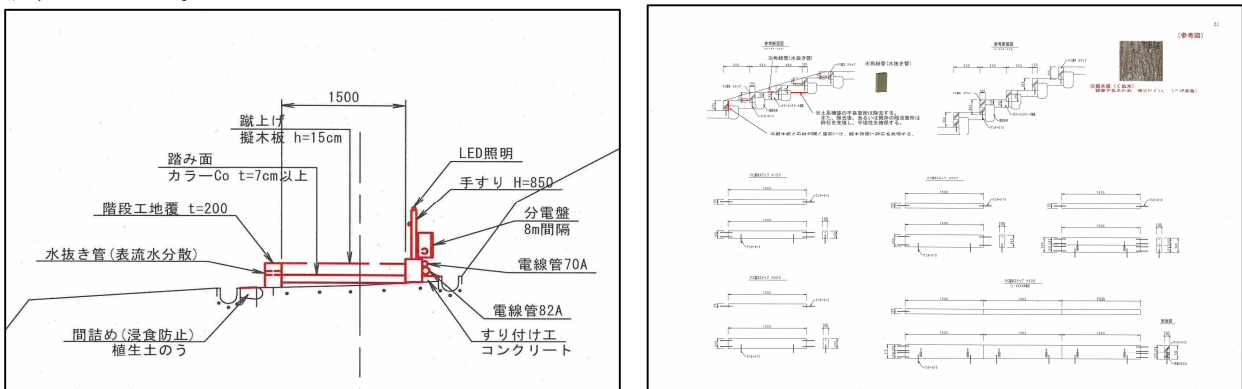
基本的な考え方を以下に示す。

基本的な考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査研究の成果により可能な限り往時の経路を踏襲し、縄張りに沿った新たな歩行者動線を設定する。</li> <li>・ 遊歩道及び自由散策を維持しながらも、来城者が米子城跡全体を理解し、散策しやすくするために、見どころにおいて段階的な顕在化やサイン類の整備を行う。</li> <li>・ 動線を歩行者動線、管理者用動線に分け、整備は遺構表示に干渉しないように配慮する。</li> </ul>

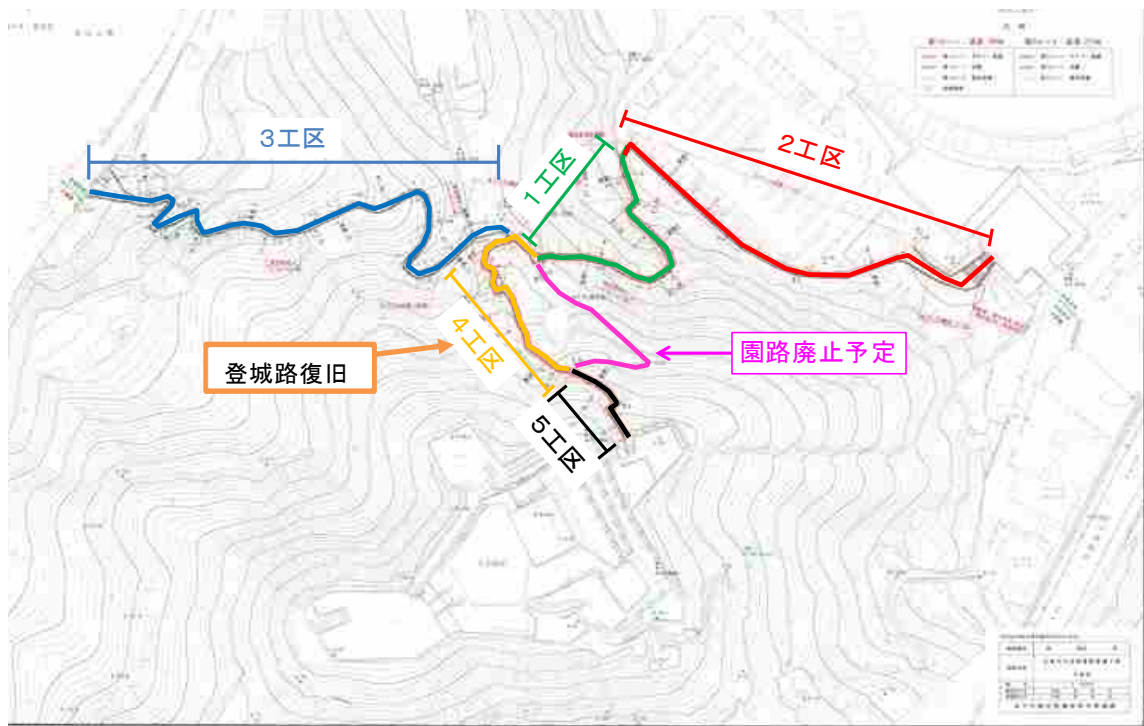
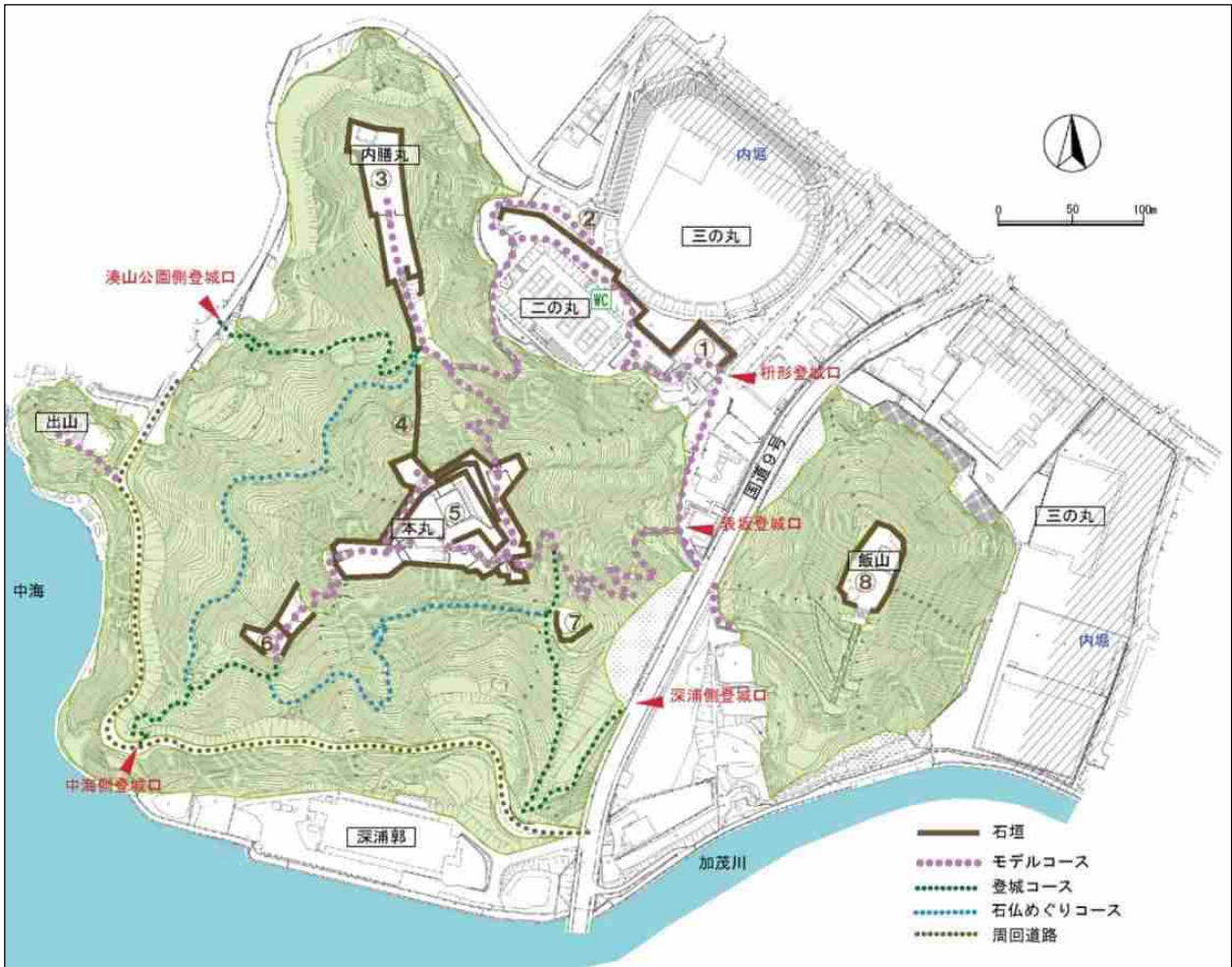
### 1) 歩行者動線

来城者の多くは、三の丸駐車場および、駐車場北側の交差点付近に設置されたバス停（令和3年12月現在）から、枅形登城口を利用し、本丸へ向かうルートと、湊山公園駐車場から湊山公園側登城口から本丸へ向かうルートを利用している。整備においては、このルートを最優先課題とし、令和3年度に実施設計を行った。これを踏まえ、令和4年度から順次整備工事を進めていく。令和4年度から3工区の工事を実施し、1工区もしくは2工区の工事は、3工区工事の進捗等に応じて、実施する予定である。2工区、4工区については未発掘であるため、令和4年度から5年度にかけて発掘調査を実施し、その結果を基に工法等を精査し工事を実施する。5工区については、主要な登城路の通行禁止を余儀なくされるため、着手時期を慎重に検討し、本丸への迂回路を十分確保したうえで工事を実施する。

登城路は、遺構保護のために、影響を与えないように盛土で被覆したうえで、来城者の安全、景観、自然環境への影響、耐久性を考慮し、安全性、快適性を向上するための整備を行う。舗装材については、史跡等に一般的に見られる土系舗装は施工後の劣化が進み、真砂土に戻ったり、雑草が繁茂したりする事例が多くのある場所で生じている。また、近年の技術進歩の中でも、この事例解消には至っていないのが現状である。対象地は山復であり、傾斜地内の登城路については狭隘な部分に歩行者が通行すること、荒天時には雨水の流路になることも鑑みて硬質の仕様を選定すべきである。また、排水路、夜間登城者の安全のための照明を備えた手すりを、必要に応じて設置していく。



登城路整備工事設計図



動線整備計画図

## 2) 管理車用動線

城内では遺構保護のため、原則として一般車両の進入はできないものとする。しかし、本丸ゾーンの石垣修理などの整備事業のために、近代以降に付設された 9 号線深浦側からの既存の登城路を利用し、山腹の遺構保護を第一としながら、山頂部までの管理道の整備を検討する。

## 3) 段階的な動線の計画

米子城跡全体は指定面積 23,993.49 m<sup>2</sup>、山稜部を主体とする城内に散策ルートが巡らされている。現在の自由散策ルートについては、段階的に整備し、ゾーンごとの見どころを増やしていく整備を行う。

表 顕在化による段階的な来訪者動線の広がり

整備時期 ゾーン区分			
	現在	第1次整備事業	第2次整備事業以降
内郭①ゾーン本丸・水手御門下郭・八幡台郭・山腹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・360度の眺望(本丸)</li> <li>・高石垣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登城時の城下町への眺望(山腹)</li> <li>・登り石垣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中海から深浦郭への眺望(水手御門郭)</li> <li>・飯山、深浦郭への眺望(八幡台郭)</li> </ul>
内郭②ゾーン内膳丸			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中海、米子港、城下町大山への眺望</li> <li>・本丸、登り石垣</li> <li>・二の丸、三の丸への眺望</li> </ul>
内郭③ゾーン二の丸・枳形		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三の丸、城下町への眺望</li> <li>・裏中御門石垣</li> <li>・枳形石垣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本丸、登り石垣、内膳丸</li> </ul>
内郭④ゾーン三の丸・内堀		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内堀、高石垣</li> <li>・二の丸、本丸への眺望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内膳丸、登り石垣</li> </ul>
内郭⑤ゾーン深浦郭			<ul style="list-style-type: none"> <li>・本丸、水手御門下郭、八幡台への眺望</li> </ul>
内郭⑥ゾーン出山			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中海、米子港、城下町への眺望</li> <li>・本丸への眺望</li> </ul>
内郭⑦ゾーン飯山			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中海、深浦郭、城下町への眺望</li> <li>・湊山への眺望</li> </ul>